

2019年5月27日

アメリカ合衆国大使館気付  
ドナルド・トランプ大統領 閣下

## アメリカ合衆国における臨界前核実験実施に抗議します

貴国が2019年2月に、ネバダ州で臨界前核実験を実施していたことが明らかになりました。これは、核兵器廃絶を求める世界の世論に逆行するものであるとともに、他国に核開発推進の口実を与えるものです。

今月開催されたNPT再検討会議第3回準備委員会において、貴国から「核軍縮のための環境づくり (CEND)」が提起がされ、核軍縮に向けた今後の対話が注目される中、みずからは臨界前核実験を通じて核兵器の性能向上を進めていたことは、国際社会に大きな不安と不信感をもたらすものです。

私たちは唯一の戦争被爆国である日本の生活協同組合の連合会として、被爆者や全国の生協の仲間と共に核兵器の非人道性について学び、人類が再び被爆者を生む過ちを犯さぬよう、核兵器廃絶をすすめる取り組みを続けています。

今回の貴国の実験に強く抗議するとともに、今後計画されている一切の核実験を中止し、「核兵器なき世界」の実現に向けて核軍縮に誠実に取り組むことを強く求めます。

日本生活協同組合連合会